

令和3年度の重点課題

○全学年を通して、男女ともに「握力」「ボール投げ」「シャトルラン」が県平均値かつ全国平均値より低い傾向にある。

○学年が上がるにつれて、休憩時間等進んで体を動かそうとする児童が減少する傾向にある。

○スポーツクラブに所属している児童とそうでない児童とで、学校外での運動の機会に差があり、高学年に上がるにつれて運動能力の調査結果も差が出ている。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○「握力」高めるため、体育の授業の導入部分で遊具の活用、グッパ体操、親指タッチを行った。

○持久力を高めるため、業間体育で「3分間走」を行い、全身持久力の向上をはかった。

○年4回、「生活プラスカード」を行い、児童の生活実態を把握するとともに、早寝早起き、軽い運動、ノーメディアなど、目標をもって生活習慣の改善に努めらえるよう意識付を行った。

○体力テスト後、実施結果をもとに研修を行い、課題を明確にし、教職員全体で改善に努められ

令和4年度新体力テストの結果(県平均値(令和3年度)・全国平均値(令和2年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.1	20.1	34.6	43.9	62.9	9.4	155.4	19.1	54.7	第5学年	17.9	23.3	34.9	44.7	56.6	8.7	159.2	13.3	63.1

県平均値かつ全国平均値未満

令和4年度新体力テストの結果(県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.1	20.1	34.6	43.9	62.9	9.4	155.4	19.1	54.7	第5学年	17.9	23.3	34.9	44.7	56.6	8.7	159.2	13.3	63.1

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	66.7	22.2	11.1	0	第5学年	66.7	33.3	0	0

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 年間を通して、遊具を使ったサーキットトレーニング、グッパ体操、親指タッチを継続して行う。
- 準備体操の中に、柔軟運動を取り入れる。(体じゃんけん→ペアでストレッチ)

体育の授業以外で行う取組内容

- 業間運動に、遊具(鉄棒、登り棒、雲梯、ジャングルジム)を使った運動を取り入れ、握力を高める。
- ボール類の用具を充実させ、休み時間に投げる動作を取り入れた遊びに取り組めるようにする。
- 校内研修で、楽しみながら体を動かすことのできる活動を共有し、体育の授業に生かせるようにする。

重点課題

- 男子
  - ・「握力」が、県平均値かつ全国平均値を下回っている。
  - ・運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合が11.1%である。(前年度比11.1%↑)
- 女子
  - ・「長座体前屈」が、県平均値かつ全国平均値を下回っている。
  - ・運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合が22.2%である。(前年度比17.2%↑)
- 全体

令和5年度の重点目標値

- 運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合を、0%にする。
- 1日の運動実施時間が30分未満の児童を20%以下にする。
- 「握力」「長座体前屈」「ボール投げ」を県平均値かつ全国平均値以上にする。